

事業所名 大瀬別荘G.H.

作成日: 令和 2 年 3 月 11 日

目標達成計画

目標達成計画は、自己評価及び外部評価結果をもとに職員一同で次のステップへ向けて取り組む目標について話し合います。

目標が一つも無かったり、逆に目標をたくさん掲げすぎて課題が焦点化できなくならないよう、事業所の現在のレベルに合わせた目標水準を考えながら、優先して取り組む具体的な計画を記入します。

【目標達成計画】					
優先順位	項目番号	現状における問題点、課題	目標	目標達成に向けた具体的な取り組み内容	目標達成に要する期間
1	NO.35	災害時に備えた飲料水や食料の備蓄の量、保存方法について、再度検討や工夫が必要である。	一週間分の食料、水を備蓄する	①飲料水ペットボトル一人1日2L×18人×7日=252Lを本社買い上げ倉庫に備蓄する。②米は玄米にて1年分購入済。本社冷蔵庫で保存中。精米を1週間早めに行う。③インスタントラーメンを備蓄し賞味期限前に消費し、味になれる。④乾物類を日頃から活用しているので継続する。⑤備蓄リストを作成する。	3ヶ月
2	NO.35	年二回の定期的な避難訓練は行われているが、災害時の地域住民との協力体制がしっかりと構築されていない。	地域住民との協力体制をつくる	①駐車場から施設までの間、地域の方とのあいさつを積極的に行う。②回覧板を持参するなど地域住民に身近な施設であることを認知してもらう③近隣の美容室を利用者に利用してもらうことでどのような利用者が施設で生活しているかを知ってもらう。④多目的室を地域住民のために活用する方法を考える。	10ヶ月
3					ヶ月
4					ヶ月
5					ヶ月

注) 項目の欄については、自己評価項目のNo.を記入して下さい。項目数が足りない場合は、行を挿入してください。